

1998年度はばたけひろしまっ子21推進事業

太田川はひろしまっ子のいのち 報告の概要

1. 会の概要と「高校生のための環境講座」の実施

私たち『宇宙船地球号の会』は、1989年10月に結成し、広島市民として地球環境問題を身近な視点で考え行動しているという観点から、これまでゴミやライフスタイルに関するアンケート調査・見学会・講演会・シンポジウムの実施・環境に関わるイベントへの参加・ゴミ拾い・海岸ゴミの調査・子どもエコクラブの企画運営・カヌーツアー等を行ってきた。1998年8月現在で会員数約60人というささやかな会であるが、『Think Globally, Act Locally,』（地球規模で考え、地域で行動する。）の精神を大切にして、地域に根ざした活動、遊び心のある活動、次世代につながっていく活動、そして自分自身の生き方を見つめなおすことを心がけて活動している。メンバーは高校生から孫のいらっしゃる方で年齢も職業も様々だが、それぞれのペースで無理のないように参加しており、環境問題に関心のある方なら誰でも参加できる。

そうした活動の一つとして、95年より「高校生のための環境講座」を毎年実施してきている。これは「環境問題は21世紀につながる重要な問題であり、その21世紀を担う高校生たちにはぜひその時代の中心になって環境問題に取り組んでほしい。そのために我々にできることとして高校生を対象としたこのような講座を開催し、環境問題を考えるきっかけ作りにもらいたい」というような、環境問題に取り組む若い世代を育てる目的から、実施してきているものである。

今年度の講座については、97年度の参加者のうち何人かから「今年度の講座はいつから始まるのでしょうか。もしあるのなら今年も参加したいし、内容についても希望があるのできてほしい」という要望を受け、私たちとしては自分から行動するそういう姿こそ講座の重要な意義の一つと考えていたので、喜んでその申し出を受けるとともに、「同じ行おうのなら自主的に講座の内容を自分たちで企画してみよう」と逆に高校生に持ちかけた。高校生たちが内容の企画を作りはじめた頃、今回の「はばたけ ひろしまっ子21推進事業」があることを知り、まさに我々の趣旨と一致するものであったことから応募し、テーマを「太田川はひろしまっ子のいのち」として、身近な川と自分との関わりを学習することになったのである。

2. 「太田川はひろしまっ子のいのち」の活動

今年の高中生講座は、前記のように高校生自らが企画し実行していった。6回の全体活動と三つの班の延べ26回に渡る班別活動内容は、9月に作成した報告書をご覧いただきたいが、中心は私たちの街の生活や心のよりどころである太田川と清流で名高い隣県の錦川を比較する中で、この二つの川の違いを水質・生物・人との関わりという三点から分析することにより、太田川に昔のような清流を取り戻すためには何が必要かを、高校生の視点でとらえた各班のグループワークである。委嘱を受けた特派員は13名であったが、さらに第1回のオリエンテーションから加わった2名を加えて、15名で調査やまとめを行った。メンバーは環境に関心を持つ広島市内や近郊の国公立の様々な学校の高校生が集まった。学校を越えて集まるということは、活動していく上で傍から見ている以上に色々と困難な点があることが、今回の活動を通じてわかったのであるが、一方で学校外で集まっているからこそ、本当の意味での自主的活動が出来るのだという意義も見出すことになった。今回の活動は日程的にも自主的という意味においても非常にハードな活動であったが、自らの意志でこの活動に加わったメンバーたちはこの活動の中で学校教育で体験することができない貴重な体験をしたはずであり、その意味において本当にいろいろと勉強をしたようである。

3. グループワークの概要

各班のグループワークについては詳しくは報告書をご覧いただきたいが、1班は水質調査を中心に活動を行った。第2回の全体学習会で佐々木健先生（広島電機大学教授）から教えていただいたことを元に、太田川の上流・中流・下流の水を、さらにその比較対象として清流といわれる山口県錦川において3か所で水を採取し、それを佐々木先生の研究室に持ち込んで分析していただいた。流域の条件の違いを資料収集し学習する中で、特に太田川は下流に行くにしたがって生活系の汚れが多いことがわかり、その結果から住民としてできる対策や課題を模索した。

2班は生物調査を中心に活動を行った。県立図書館等で資料収集した後、太田川で生物の採取、続いて1班と同じように、比較対象として山口県錦川の上流・中流域で生物の採取を行った。また両川の水でご飯を炊いて食べてみるなど、川の実験の様子を体で感じる試みを行ったりした。その結果、指標生物から判断した川の自然度は錦川中流・錦川上流・太田川中流・太田川上流の順に、採取場所の周囲の様子などから判断した自然度は錦川上流・太田川上流・錦川中流・太田川中流の順となった。特に太田川は錦川に比べ人工護岸が多いことが、調査中、メンバーには強く印象に残ったようである。

3班は川と人の関わりをテーマに、流域に住む住民の方への聞き取りを中心に活動を行った。また、聞き取りの中から住民の方々がダム建設による周囲の自然の変化など様々な弊害を感じておられることに着目し、ダムの見学も精力的に行った。その結果、これ以上ダムを作り続けることの是非も含めた検証、さらに私たちの生活の中で河川の汚れを防ぐために改めていくべきことを課題として整理した。

4. 学習の成果と課題

環境問題を自らの問題として考え行動を起こすことが大事だとよく言われるが、行動を起こすためには環境問題に対する知識や考え方が重要なのと同時に（時によってはそれ以上に）、企画力・行動力・忍耐力・リーダーシップ・判断力といった組織運営のノウハウを身に付けることも大切であるということ、私たちはこの実践を通して学んだ。環境問題やそれに関わる活動に対してすばらしい考えを持っていても、それを具体化する能力がなくては絵に描いた餅に終わってしまう。この学習や報告書を作成することを通して、私たちは地域の自然を守っていくがいかに重要であり、同時にいかに困難であるかということも学んだのであるが、一方で私たちが行動を起こすためには何が必要であるかということも実践的に学んだ。学校を越えたグループであることや高校生に自主的活動を求めあまりに、活動途中で様々な困難があったことは事実であるが、その困難さを割り引いてもなおこの活動を通して得たものは、皆、大きかったと言えるであろう。

活動の記録

全体の活動

	テーマ	日時	場所	内容
1	オリエンテーション	7月17日(金) 17:00~20:00	広島市青少年センター	代表(高橋)あいさつ 自己紹介 水についての話・講師 久我 教之(ひろしま NPO センター) 宇治郷 整(3班) きき水大会
2	水質について(講義)	7月23日(木) 15:00~17:00	広島市青少年センター ・河川敷	水質調査方法等水に関する学習会を行う ・講師 佐々木 健(広島電機大学大学院教授)
3	太田川について	7月30日(木) 15:00~17:00	建設省太田川工事事務所	太田川に関する学習を工事事務所の職員の方を講師に行う
4	キャンプに向けての調理実習	8月7日(金) 17:00~20:00	広島市青少年センター	キャンプでの自炊に向けてカレー・サラダなどの調理実習 テーマ 残飯等のゴミを出来るだけ出さない ・講師 坂口 千絵(2班)
5	キャンプ	8月13・14日(木・金)	横川駅集合・山口県錦川上流の南桑	1泊2日のキャンプ実習(グループワークを兼ねる)
6	まとめ	8月20日(木) 15:00~18:00	広島市青少年センター	報告書作成に向けてグループの学習成果を発表
7	報告書作成	8月下旬~9月中旬		
8	報告書完成・提出	9月18日(金)		

グループワーク

1班(水質調査班)

	日時	内容
1	7/23	佐々木先生を講師として招き、飲料水などにリンがどれくらい含まれているかを聞く。講義の後、青少年センターの横の太田川で、パックテストの実験と太田川の様子を見る。
2	7/31	太田川工事事務所いき、太田川の水質についての質問や意見を聞いた。
3	8/02	太田川の上流(明神橋) 中流(安佐北大橋) 下流(安芸大橋)で水を採取する。
4	8/12	中央図書館で太田川の水質についての資料を収集した。
56	8/13~14	山口県錦川上流の南桑でキャンプをし、錦川の上流(錦町) 中流(南桑) 下流(錦帯橋付近)で水を採取。
7	8/24	太田川と錦川で採取した水を佐々木先生の研究室で分析。
8	9/03	グループワークのまとめを行う。

2班(生物調査班)

	日時	内容
1	8/01	県立図書館で資料を収集し、事前学習を行う。
2	8/04	太田川で生物の採取を行う。
3	8/06	県立図書館において太田川で採取した生物の調査を行う。
45	8/13~14	山口県錦川の南桑でキャンプをし、13日に中流域、14日に上流域において生物の採取を行う。
6	8/16	班員の河野宅において錦川で採取した生物の調査を行う。
7	8/19	青少年センターにおいて20日のグループ発表に向けての準備を行う。
8	8/22	青少年センターにおいて、まとめ作業を行う。
9	9/04	青少年センターにおいて、まとめ作業を行う。
10	9/07	青少年センターにおいて、まとめ作業を行う。
11	9/08	学校において、まとめ作業を行う。
12	9/09	学校において、まとめ作業を行う。

3班(川と人の関わり班)

	日時	内容
1	8/14	錦川近くの地元の人、保健センターの人にインタビュー
2	8/15	戸野寿美江さんに太田川についてインタビュー
3	8/18	太田川漁協の谷口さんにインタビュー
4	8/19	資料整理
5	9/06	津伏取水ダム、温井ダム、立岩ダム視察
6	9/07	資料整理